



広報

たしろ

No. **449**

平成 3 年

1月号

田代町役場企画管財課

明けまして おめでとう ございます

平成 3 年元旦



競走馬を調教，育成する総合的施設を備えたトレーニングセンターが完成，この施設の懸案は日本の中央で通用する強い馬をつくることと，地域の雇用と所得形成の場を確保，更に観光面の位置付けにより夢とロマンを若者に享受することが期待される。

未年に飛躍を

新年のあいさつ

田代町長

町民の皆様、ふるさとを離れ遠くの異郷の地で暮らしたの皆様、新年おめでとうございます。

輝かしい平成三年の年頭にあたり、町民の皆様のご健勝とご精進を心からお祝い申し上げます。

田代町が今日あるのは、先人の方々の血と汗の結晶と町民の皆様のためみない努力で今日の発展が築かれて参りました。私はこの田代町をこよなく愛し、より豊かに育て「活力に満ちた、緑と心の豊かな町」夢とロマンの里を、二十一世紀を担う世代に継承しなければならぬ責務を痛感するものであります。

顧みますと昨年は、九月の前半までは平穏無事で春カボチャ、春インゲン、お茶、葉たばこ、早期水稲は豊作で今年は良い年になりました。そうだと期待していましたが、予想に反し季節はずれ

の九月十七、十八日の台風十九号に引き続き二十号、二十一号の大型台風が次々に襲来し本町でも土砂崩れによる住家の全壊、床下、床上浸水、田畑、山林、道路、河川、農畜産物に甚大な被害（被害総額六億三千二百万円余）を受けました。

羅災された町民の皆様に対し、改めてお見舞い申し上げます。羅災された方々と町民の方々が一体となって復旧に努力されたことに対し深甚の敬意を表します。先般土屋鹿兒島県知事も本町を訪れ、災害現場を視察され被害の規模の大きさに驚いておられました。

本町におきましても議会、執行部一体となって国、県、上部団体にご相談申し上げてまいりましたところ、平成二年十一月九日の閣議決定で「平成二年九月二十六日から十月一日までの間の豪雨及び暴風雨についての激甚災害の指定並びにこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令が発せられ「激甚災害」が指定され、農地、農業用施設、林道の

災害復旧事業に係る補助率の嵩上げ等の財政的援助の適用が受けられるようになり、公共土木災害復旧事業（河川災害十一件、一億七千二百五十七万三千円、道路災害二十七件、八千四百四十二万八千円）、農業用施設災害復旧事業（農業用施設災害十五件、二千六百二十八万九千円、農地災害八件、一千四百五十二万七千円、総計十六件、二億九千四百八十一万七千円）を平成四年三月末日まで完成する予定で全力を傾注する覚悟です。

農畜産物販売額は、三十二億八千余万円で昨年に比べて四千四百余万円の減となっておりますが、これは台風によりキヌサヤエンドウ、秋カボチャ、秋インゲン等の園芸作物が被害を受け減収となったものです。又昨年は新しく十年間の時限法で制定された過疎地域活性化特別措置法がスタートし、本町におきましてもこの法律の趣旨に基づき過疎の活性化を図るため、前期五ヶ年間の過疎地

域活性化計画を国、県の実施方針に基づき策定、地域振興審議会、議会の議決を経て平成二年度を初年度としてスタートしました。

計画の要旨は、産業の振興、交通通信体系の整備、生活環境の整備、高齢者の福祉、その他の福祉の増進、医療の確保、教育文化の振興、集落の整備、二十一世紀へつなぐ新たなむらおこしの九項目を柱に各分野にわたり、五十億七千万円余の事業を実施する計画です。国、県の事業は関係機関と連携を取りながら実施する計画です。

時に田代町は、二十一世紀の食料基地としての役割と近づく貿易の自由化に備え、肝属南部国営総合農地開発事業も中村上原団地、永山団地に次いで大根田の長尾団地に関係者のご協力を得て着工、工事も順調に進捗しています。誘致した企業も順調な業績を示し町の活性化、雇用機会の増大、町民所得の向上に大きく寄与しています。更に永年の懸案であった

新年のあいさつ

田代町議会議長

平成三年の年頭にあたり議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成三年の輝かしい新春を迎え、皆様と共に栄えゆく我が町の将来を寿ぼぎ、合わせて田代町の進展をお祝いできますことは、私の心から喜びとするところであります。

平成二年度は、数々の思い出を残しながら一年間町民皆様からお寄せ頂いた、ご信頼とご愛顧に對しまして厚くお礼申し上げます。

さて、平成二年度は私達の記憶にない台風19、20、21号と、大隅半島の農作物、農業用施設、林地を中心に県内総被害額の3分の2を上廻る規模の大変な災害に見まれ、被害者の皆様に心からお見舞い申し上げます。災害復旧にあたっては、町当局初め議会も懸命の努力を致している次第であります。鹿兒島県も「激甚災

害」に指定され農業用施設、町道など復旧事業に特別の補助、天災融資法を発動し経営資金を緩和されることとが決められているようであり、これら早期復旧を進めて行きたいと思っております。

最近我が町の農業を取り巻く情勢は非常に厳しく人口は減少する中で過疎化は進み、誘致企業を取り入れながら若者定住人口増と所得高揚に努力されていますが、米をはじめとする主要農産物の需給不均衡の拡大、価格の低迷に加え諸外国からの一層の市場開放要求の高まり等、極めて厳しいものなど農家の高齢化、農家を担うべく後継者は激減しつつあります。

本町も昭和六十三年年度で畜産基地造成の完成に伴い、事業効果と実績が高まりつつあり更には、肝属南部開発総合農用地開発事業も三年目を迎え、農業生産基盤の整備により生産性の高い農業経営の確立等、大きく変わりつつあります。更には市町村に交付された

ふるさと創生資金による人材育成研修によるむらづくり、一村一品、特産品未利用資源を活用し、創意工夫しながら地域産業活性化のため積極的に関与の自主性と実態に即した地域農業の振興を図って行かなければならないと思っております。

生活環境施設の整備促進等についても住みよい生活環境を確保し、豊かな地域社会を建設し環境の保全、下水道整備等の促進を図って行かなければなりません。産業基盤の整備充実の問題にしても新過疎法による平成二年度から平成六年度までを前期過疎地域活性化計画が議決され計画の実現を強く要望しているところでもあります。

肝属議長会におきましても農林業の生産基盤整備促進、広域営農団地、広域農道の早期完成、九州縦貫自動車道、東九州自動車道及び南九州西回り自動車道の建設促進、鹿屋吾平平佐多線の国道昇格等多くの諸問題等強く要望し、過疎地域振

興対策の拡大強化に努力致しているところであります。

平成三年度には、本町山村林業の振興を図るため戦後森林保育造成が進められ、伐採期に入っている今日では外材の輸入による価格の低迷のため国産材活用施策として林業振興地域整備計画に基づき林業構造改善事業を多角的に導入して、地区内における林業経営計画の整備、林道開設拡充、素材生産基盤整備に取組み、林産業の活性化、ひいては地域社会の発展に寄与するため、南隅四ヶ町が一地域として木材生産活性化対策協議会が発足して、地域産地形成型構造改善事業を総額約十一億六千万円の事業費で国産材加工施設が具体化され今後の林業所得高揚の期待がもたれることになりました。議会におきましては、過疎地域の活性化を図り誘致企業による人口減の歯止めが人口増につながるよう全力を傾注したい所存であります。

最後に平成三年度は、町

田代町のシンボル、田代町民の啓蒙である役場庁舎の建設も昨年十一月一日本体内工事施工業者株式会社桑原組により着工し、本年九月エレベーター付鉄筋三階建が町制三十周年の記念すべき年に完成します。又教職員住宅五戸、若者定住宅六戸が三月中旬に完成し、教育の充実、若者の定住化を図る考えです。

平成三年度は町制三十周年の記念すべき年で、鹿兒島茶業振興大会を本町に招致開催するのをはじめ、各種記念行事を実施する予定です。

町民の皆様も個々にそれぞれの目標を掲げ「活力に満ちた緑と心の豊かな町づくり」を目指して邁進されることを心から念願してやみません。

平成三年が、夢のある年として、町民ひとりひとりが幸福になることが町の活性化と発展につながるものと確信しています。

平成三年が最も輝かしい年であり、同時に、ご健勝で幸多い年となります。制三十周年記念行事庁舎の完成等、町民生活安定を図るには、尚重要な問題が山積しています。その解決を図ることが議会に課せられた責務であり、国、県の施策と相まって町財政の範囲内に於いて最大の効果が上がるよう努力する覚悟であります。平成三年こそは町の躍進の年として、町政全般にわたり最大の努力をする所存です。ご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。新しい年が皆様方にとりまして幸せ多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。ご挨拶と致します。

平成二年度公職選挙法改正により、議会議員に立候補しようとする者は印刷物、年賀状差出は違法で禁止されていますので、広報を通じて全議会議員に代わりましてお知らせし、年賀状でのご挨拶は遠慮させて頂きます。



目標とやる気をもって
辺志切 袖山 靖代

早瀬 辺志切 和幸



時のたつのは早いもので、自分も成人式を迎える事が出来ました。

これも長年に渡り、御指導下さった親族や回りの人達の御陰だと感謝の気持ちで一杯です。

今、振り返ると二十年という長いとも短いとも言える間に様々な出来事が思い出されます。小中高、その中で団体行動の難しさ、大切さ、役割、そして要領など多少の良し悪しまで知りましたが、未だ未だこれからも学ぶべきものはあります。

成人を迎えるにあたり、社会的責任や義務を課せら

れる事になります。言うなれば、この時は鯉の稚魚が保護という池から社会という大河に放流されたと言うのと同じでしょう。自分自身で生きて行かなければなりません。ですから、自分の意志を持ち自分自身を恥ずかしめない様な行動をし、責任を持つ事を自覚しなければなりません。自分の意志を明確に伝え、他人の意見を聞き、何が良い事か、正しい事を判断する事も大切です。今まで他人の様に考えていました。が、いざ自分がやらなければならぬとなると不安で胸が一杯です。

高校を卒業して、二年がたとうとしています。社会に出たとはいっても自分の場合自営ですし、一月の大半は親と一緒にです。現在、素材や品質面で規定が厳しく風あたりも強いですが、反省を繰り返して頑張っています。

この先自分の人生がどう変わるかわかりませんが、出来る限りの事は懸命にやっています。

(早瀬 自営手伝)

私がこの世に生をうけてから早いもので二十年の歳月がたちました。今こうして成人の仲間入りができる事を大変うれしく、そして有り難く思っています。

この二十年間を振り返ってみますと長かったようで短かったような気がします。二十歳というときまだ先のことだと他人事のように考えていましたが、今実際にその立場になってみて身のひきしまる思いです。十代とは違い、他人にも自分自身にも厳しくならなければなりません。これまでの自分は回りの親切に甘えていた様な気がします。

二十歳といえもう大人です。世間の目も十代とは



全く違います。自分に責任を持ち他人や社会への配慮も大切にしたいと思います。そして、自分をもっと見つめ直して何事にもチャレンジ精神を持ってがんばりたいと思います。

高校の時読んだ本の中に、「若さとは成長する事である。何に向かって成長するか、それが若い人の課題である。」という事が書いてありました。つまり目標を持ちなさいということです。やる気があればどんな壁でも乗り越えられるのではないのでしょうか。二度と帰らない青春だから……自分だけの人生だから……大切にしたいのです。

そして最後に、私が今こうして成人式を迎えることができたのは、二十年間育ててくれた両親、苦しい時もうれしい時も一緒に涙してくれた友達、そして私の回りのいろんな人達の御陰だと思えます。

私はこのすべての人たちに心から「ありがとう」と言いたいです。

(なんぐう農協)

『ふるさと
完走歩大会』
のお知らせ!!

毎年、開催されている『ふるさと完走歩大会』が今年も開催されます。

1km、3km、5kmで、走っても歩いておかまいません。日頃運動不足の方は是非参加してさわやかな汗をかいてください。又、家族で参加して親と子のふれあいの大会としてほしいものです。特に一般青年、成人の方々の参加をお待ちしています。

期日は次のとおりです。

※平成三年一月二十七日（日）午後一時三〇分から会場は中央運動場です。

『グランドゴルフ大会』
のお知らせ!!

期日、平成三年二月十七日
場所、中央運動場
チーム編成は何人でもかまいません。

個人で参加されても良いです。みんなでスポーツを楽しむましよう。

被害総額 632,511千円



- | | | |
|-----|------------------------------------|-----------|
| (1) | 中野利三郎氏 保護司会・調停協会より表彰 | 1月 |
| (2) | 田代コンクリート工場立地協定調印 | 1月 |
| (3) | 鹿児島県林業振興大会 木場忠さん最優秀賞受賞 | 2月9日 |
| (4) | 教育委員改選 小川兵一氏退任 林正美氏就任 | 5月 |
| (5) | 全九州高校総体自転車競技大会(ロードレース) | 6月24日 |
| (6) | 第1回優良農家研修大会 54名参加 | 6月26日 |
| (7) | 田代町交通死亡事故「0」の日2000日達成 | 6月28日 |
| (8) | 青少年県外研修 「田代二才の旅」
参加者は中高生、青年、町職員 | 7月23日～28日 |
| (9) | 農業委員選挙 無投票で新委員当選 | 7月16日 |



全九州高校総体自転車競技大会

- | | | |
|------|---------------------------|----------|
| (10) | 田代町交通死亡事故「0」の日2000日達成記念式典 | 7月23日 |
| (11) | 体験農業ツアー | |
| | 鹿児島市たしろ会、鹿児島市よろん会より参加 | 8月9日～10日 |
| (12) | 森林組合長改選 右田始氏退任、尾ノ後幸一郎氏就任 | 8月31日 |
| (13) | 農畜産物処理加工施設完成 | 8月31日 |
| (14) | 一日体験農業ツアー 両日で90名参加 | 9月8日・11日 |
| (15) | 台風19号・20号・21号猛威ふるう | |



肝属地区青年の山大会

- | | | |
|---|---|--|
|  | <p>(16) 郡秋季畜産共進会田代町準優勝 9月25日・26日</p> <p>(17) 満腹絶倒イン花瀬盛大に開催</p> <p>鹿児島市よろん会会員を中心に33名参加 10月19日～20日</p> <p>(18) 肝属地区青年の山大会開催 10月30日</p> <p>(19) 役場新庁舎建設工事着工 11月1日</p> <p>(20) 鹿児島県茶業大会 上田一友さん特別賞受賞</p> | <p>肝属地区青年の山大会 田代町産地賞第2位受賞 11月7日</p> |
| <p>(21) 鹿児島県茶業大会田代町で開催決定 11月7日</p> <p>(22) 肝属地区芸術祭開催 11月11日</p> <p>(23) 九州地区自然休養村大会（九州各県69名参加） 11月20日・21日</p> <p>(24) 肝属地区青年駅伝大会 田代町よりスタート 11月23日</p> <p>(25) 第14回九州地区緑化推進大会</p> <p>木場忠さん九州地区緑化推進協議会会長賞受賞 11月</p> <p>(26) 篠原正己さん厚生大臣国民健康保険関係者功績表彰受賞 11月</p> | <p>役場新庁舎建設工事着工</p> |  |



役場庁舎着工

木場忠さん
九州地区緑化推進協議会
会長賞受賞



第十四回九州地区緑化推進大会が沖縄県で開催され、西中郡の木場忠さんが、九州地区緑化推進協議会会長賞を受賞されました。

木場さんは、昭和六十年春に植栽したクヌギ林を、優良林として知事賞を受け、展示林として管理されているが、この山を今年八月から「こんちゅう村」として子供達に開放して話題を呼んでいる。

クヌギ林でクワガタ等を

自由に採取しながら自然観察や森林浴を満喫できる場所として遊歩道やベンチ、トイレも設置され、自然教育の場を提供している。

このように、地域緑化等を通じて、緑化の実践と緑化思想の高揚に尽くした功績をたたえ、今回の受賞にいたったものです。

篠原正巳さん
厚生大臣による国民健康保険関係者功績表彰受賞



この表彰は、国民健康保険事業に対する功績が特に顕著であって、他の模範と認められる国民健康保険関係役員に対し、厚生大臣より表彰されます。

篠原正巳さんは、本町の国民健康保険事業の発足時

より、国民健康保険運営協議会委員として委嘱され、その職務を十分に果たされると共に、国民健康保険事業の健全な運営に貢献され、各種保健事業等に対し、も献身的に寄与され、その功績をたたえ、今回の受賞にいたったものです。

九州自然休養村研究大会

九州自然休養村事業現地研究大会が、十一月二十日田代町開発センターで開催されました。国の自然休養村整備事業の適用を受けている二十二市町の代表七十人が参加して、豊かな自然を活かした地域活性化策などを話し合いました。

九州自然休養村連絡協議会の児玉清隆会長（長島町長）が「優れた自然環境を守り、都会の人や子供が観光農林漁業に親しめる交流の場を整備しよう」とあいさつがあった後、松田町長が歓迎の言葉を述べました。

事業紹介では佐賀県伊万里市の武野逸郎氏が、ふれ

あい農園、フルーツもぎとり園など整備する伊万里ふるさと村構想（事業費二億五千万円）を事例紹介されました。また本町の若松経済課長が日本一早い出荷が可能な柿（西村早生）の産地化、軽種馬トレーニングセンター建設など「若者に夢とロマンの里づくり」を紹介しました。

大会では花瀬太鼓同好会のメンバーが見事なパチさばきで演奏を披露し、南方圏交流センターの加藤憲一代表が「からいも交流の挑戦」と題して講演がありました。



田代幼年消防クラブは、火災の時期に入り、町民の防火意識高揚を図るために十一月十四日、役場前から市街地にかけて防火を呼びかけパレードを行いました。

参加したのは年長組の四十五人で、はっぴ姿のかわいらしいチビ子らは「火の用心、マッチ一本火事のもと」と保母さんの打ち鳴らす拍子木に合わせ、元気に防火を呼びかけました。



防火呼びかけ
園児パレード

肝属地区青年駅伝大会
七年ぶり田代町よりスタート



七年ぶり田代町よりスタート

第二十三回肝属地区青年駅伝大会が去る十一月二十三日（金）、田代町役場前よりスタートして、佐多町までの十二区間、三十四・三キロメートルのコースで争われました。

本町からのスタートは、七年ぶりとなつて監督、選手が一つになつて、数々の問題、ハードな練習を乗り越え、本町青年団は昨年の六位より一つ躍進し第五位の成績を納めました。

選手の皆さん本当にご苦労様でした。今後も全員が一致協力して、青年団活動を盛り上げていけることを期待します。

南風谷橋開通

平成元年度から事業費二億八千九百二十万円のかけ、南風谷橋（橋長二十九m）を含む農免農道整備事業が施行されてきました。今年南風谷橋が完成し、渡り初め式が行われました。

式典は、鹿屋耕地事務所長、田代町長により玉串奉典等の神事を行った後、鹿児島県関係者、田代町関係者全員で渡り初めを行い開通を祝いました。



関係者全員で渡り初め

お知らせ

政治家は年賀状等のあいさつ状を出すことが、禁じられています。

公職選挙法の改正により、町長、町議会議員の現職、その候補者になろうとする者は、町内にある者に對し答礼のため自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞などの時候のあいさつ状（電報なども含む）を出すことは禁止されています。

じょうずに使おう
一一〇番

一月一〇日は、「一一〇番の日」です。

一一〇番するときは、あわてず、おちついて、まず何があったかを告げてください。

（強盗です。けんかです。）

いつ、どこで、そこに行く目標は、

（発生した時間、場所、近くの目標物：等）

一月の日曜在宅医

- 一月一日 濱畑俊仁
- 一月二日 黒木内科小児科 黒木一丸
- 一月三日 津崎邦英
- 一月六日 長浜俊一
- 一月十三日 黒木辰郎
- 一月十五日 阿久根廣一
- 一月二十日 大根占医院 山下健治
- 一月二十七日 黒木辰郎

第159回高山木材共販相場表

TEL 0994-65-5234 平成2年11月30日市

長 級	径 級	スギ					ヒノキ					
		主 伐		材		間伐材	主 伐		材		間伐材	
		曲	安	中	高	直	曲	安	中	高	直	
40	3～10	8,000	13,500	14,000	14,500	13,500		15,000	17,000	19,000	15,000	平均単価 18,200円
	11～13	14,000	21,000	22,500	23,500	21,000		25,000	33,000	37,000	25,000	
	14～16	20,000	21,000	22,500	23,000	21,000		35,000	45,000	48,000	35,000	
	18～22 (タイコ)	22,000	23,500	24,000	22,000		38,000	50,000	55,000			
30	3～10		12,000	13,000	14,000	12,000		6,000	7,500	9,000	6,000	
	11～13		16,000	17,000	18,000	16,000		15,000	18,000	23,000	15,000	
	14～16		22,000	23,000	24,500	22,000		23,000	28,000	34,000	23,000	
	18～22 (タイコ)		22,000	23,000	24,000	22,000		28,000	32,000	43,000		

教育だより

田代小学校

一、早朝マラソン
九月から始まった自主マラソンで、朝の八時から十分間、かけ足レコードに合わせて走り、体力づくりに取り組んでいる。六年生の男子は、十二月の現在でも担任を先頭に裸で走っている。



レコードに合わせて走る子供たち

二、甘しょの収穫
六月にPTAの協力で植えた甘しょも、夏の暑さの中で除草、追肥、土



こんなに大きいのがとれたよ！

寄せ等の甲斐あって大きく成長し、十一月の二日には取り入れが行われた。次々と掘り出される大きなものに子供たちも思わず大喜び、あちこちで歓声が上がった。
収穫されたいもは各家庭に数個ずつ配布される一方、学校給食や試食会にも使われ、甘くておいしいと好評であった。
また、今年度はPTA事業部の協力でからいも飴づくりを実施し、子供たちも興味深く取り組んだ。



PTAの協力でからいも飴づくり



自分達でつくったお味はおいしいなあ

子どもはお話が大好きです。本を読み聞かせることは、子どもの興味を広げ、想像力を豊かにします。そして、もうひとつ大事なことは、子どもの言語能力を育める、ということ。今、子どもの手になるような言葉はなかなか見つかりません。子どもの周りにあふれているテレビやマンガの言葉だけでは、豊かな言葉の使い手になれそうもありません。作品として書かれたものを読みみかせることによって、正確な言葉の使い方を知り、表現の方法を会得し、聞く姿勢ができてきます。親も、忙しくて時間がとれないといわず、寝る前のほんの十分でも子どもといっしょに本を読む習慣をもちたいと思います。
乳幼児をお持ちの母様、また、お孫さんにどんな本を与えたらよいかわからないおじいさん、おばあさん、気軽に声をかけてください。

いまこそ、読書のある生活を！

家族でたのしめる本

これはのみのびこ

谷川俊太郎・作

和田 誠・絵

サン・リード

たのしい言葉のリズムが子どもたちを魅きつけます。しゃれた絵の展開で笑わせる人気絵本です。

なぞなぞえほん

中川李枝子・作

山脇百合子・絵

福音館書店 全三冊

歯ぎのよい、リズム感あふれる文章、楽しい絵、手ばなせなくなる本です。



たまには児童文学はいかが？

『心身ともにたくましい、青少年の育成をめざして！』

教育長 津曲 實雄



平成三年の新春を迎え、田代町の発展と町民の皆さん方のご多幸を心からお祈りします。

年の初めに当り、平成二年を反省し、新しい年の展望を述べてみたいと思います。

まず学校教育面では、本町は、教育の町として、他の市町に先んじて、パソコンを導入し、実践的研修を積み重ね平成二年に肝属地区を対象に研究公開を行いました。参加者の皆さんから、高い評価を受けました。平成三年度末までには、町内すべての学校で情報機器を使った授業の研究を積み重ね町民の期待に応えられるような教育の姿に持っていきたいと考えております。

第二に青少年健全育成の町として、月の第三土曜日（青少年健全育成の日）の活動をより充実したものにすするため、平成二年度から、青少年指導員を町で委嘱し、五地区に分かれて、活発な活動を促進することといたしました。また、町P連絡協議会では、平成三年二月に行われる県PTA研究公開に向けて積極的な取り組みがなされ、それぞれの家庭や地域活動の中で活かされつつあることは、誠に有り難いことと感謝しております。

更に町のふるさと創生資金を使って実施いたしました「田代二才の旅」は、遠く会津若松を皮切りに、大阪では、郷土出身の田代会の方々と有意義な交歓会が開かれました。最後は、山口県萩市の松下村塾を訪ね、幕末の憂国の志士の心に触れることができました。参加した青少年の純粋な心にそれぞれ大きな感動の記録を残しています。これらの感動を生かして、これからの田代の地域づくりの中心になって活動してほ

しいと期待をしております。また、二学期初めに実施しました「田代学寮」は、小学校高学年を対象とした一週間にわたる宿泊学習でしたが、互いに励まし合いながら、日常自分でしたければならない事をきちんとやれるようにしたいとすねらいで、町福祉センターを拠点として実施いたしました。初めてのうちは、かねてからほとんど親に頼りがちな子どもたちで、戸惑い勝ちでしたが、一週間を過ぎ閉講式を迎えた時は、自分の履物の始末を初め、寝具の後始末・洗濯まで、さっさと出来るようになりました。かわい子には旅をさせ、同じ仲間とともに磨き合い、たくましく成長していくものだとうことを実際に証明してくれたようなものでした。そのほかにもいくつもの貴重な体験行事もありましたが、今回は割愛させていただきます。少年の日に得た尊い体験が新しい芽を吹き心豊かな思いやりのあるたくましい子どもたちに成長してくれることを心から期待して

います。

最後に平成三年の課題として地区公民館活動の活性化と、新しい生涯学習社会を構築するため、町部局は勿論民間諸団体とも連携を密にしなが、事業の推進を図っていききたいと思います。また、地域活動の原動力として、若い青年を中心とした青壮年部と婦人会活動を更に援助していきたいと思います。次の時代を背負ってたつ人材育成も大きな課題だと思えますので、町民各位の積極的なご意見を聴かせくださるようお願いを申しあげ挨拶いたします。

平成3年 田代町成人式

とき 平成3年1月3日(木)
午前9時30分より
ところ 田代町開発センター
ホール
※ 全員 平服で参加しましょう

行事トピックス



肝属地区生活学校交流集会 (12/12)



青少年団体育成指導者研修会 (12/7)



親と子の健康づくり講習会 (12/4)

健康だより

「ボケ予防にもなる右脳
開発作戦をどうぞ！」

・左脳偏重はボケをはやめる？

脳の左と右では役割が分化しています。左脳は言語中枢、思考、計算などの役割をしており、普段の生活では左脳を主として使っています。脳の特定の部分だけを使っていないと、高齢者になってボケになりやすいとも言われています。

・こんな趣味をもつことで右脳を活性化させる。
では、実際にボケ予防のための右脳開発として、どんなことをやったら役立つのでしょうか。

右脳を使うということは、言葉で考えずに、イメージを思い浮かべることです。例えば絵を描く、ものを作るなどの趣味は、イメージが重要です。又囲碁や将棋

もイメージが大事で、上手になると碁譜や棋譜がつきつきに頭の中に浮かび、何十手も先まで実際に「目に見える」のだそうです。このような趣味はいずれも右脳活性化に役立ちます。しかし、たまにやるのではだめ。自分が好きな事を見つけて、ある程度打ちこむことが大事です。

★右脳を活性化させる趣味

・俳句・囲碁・将棋・マージャン・花札・オセロ・トランプ・ジグソーパズル
・絵を描いたり眺めたり鑑賞する。

・音楽をきく。楽器の演奏や歌をうたう。

・園芸・盆栽・野菜作り
・日曜大工・陶芸・木彫・編み物・手芸・織り物・洋裁

・お茶・お花・書道
・運動をする

・スポーツ観戦
・犬・猫・小鳥などの飼育

★左脳をやさめるのも右脳活性化に役立つ
何も考えないでいることは

とてもむずかしいことです。

・現代人は、ぼんやりしているつもりでも頭の中が言葉でうまっているのです。

この言葉を「追い出す」、つまり左脳を一時休止状態にすることも、右脳に切りかえるために、あるいは右脳が活躍しやすくなるために役立ちます。

そのためには、エクササイズウォーキングなどのスポーツ、適量のアルコール、座禅、ヨーガなどが役立ちます。

新年を迎えてお考えいただけたらと思います。

人口の動き

平成2年12月1日現在

住民基本台帳		増		減		前月 対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,984	1	4	0	3	2
女	2,064	1	5	1	8	△3
計	3,958	2	9	1	11	△1
世帯数	1,438					1

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



田代町社会福祉協議会 「篤志寄附金」

さきに御逝去されました方の御遺族より、香典返しを廃止され社会福祉協議会へ多額の寄附を賜りました。

厚くお礼申し上げますと共に御冥福をお祈りします。

西元 スミエ 様
中野 次男 様

